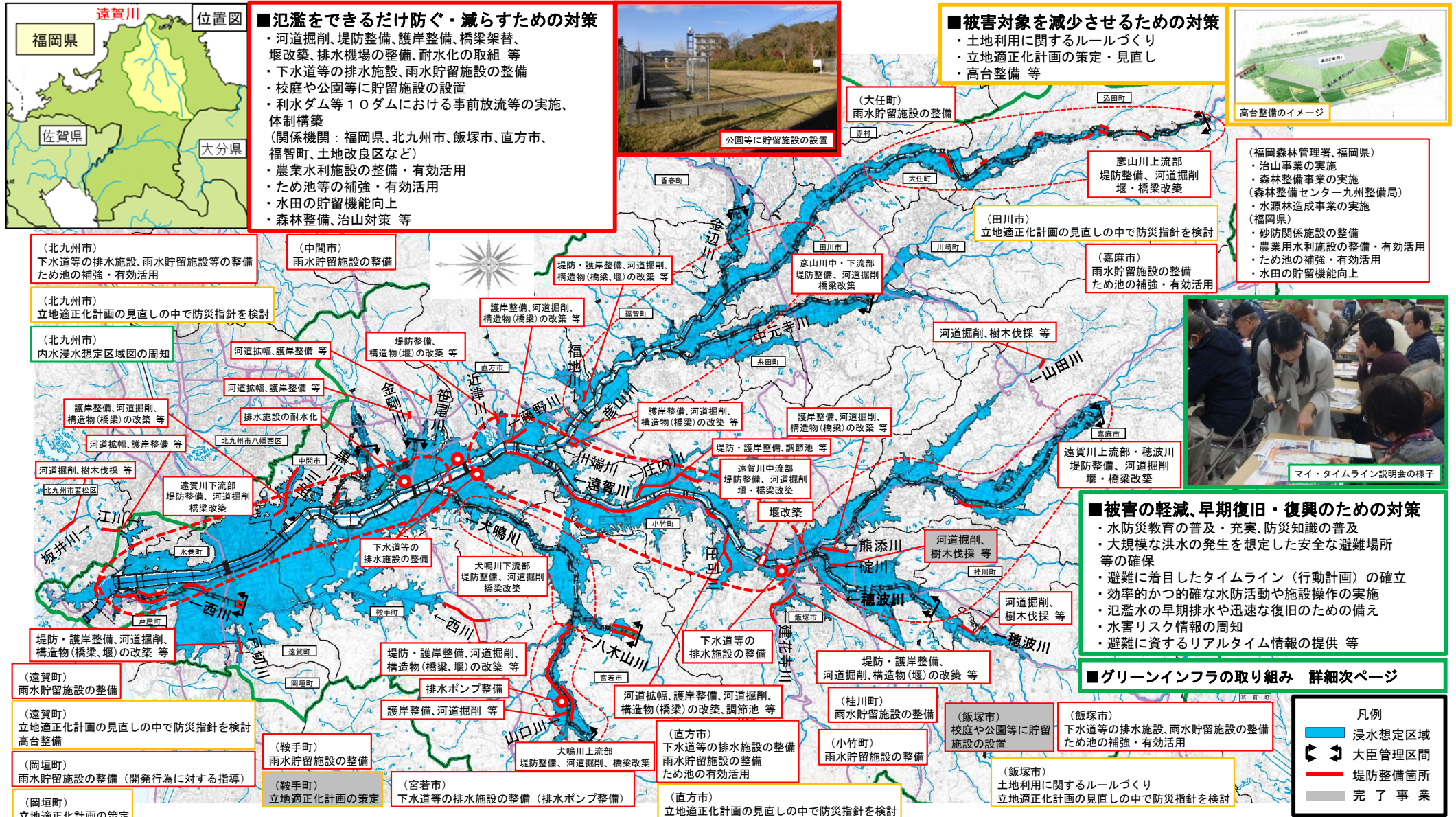


遠賀川水系流域治水プロジェクト【位置図】

～観測史上最高水位を観測した平成30年洪水及び気候変動に対応した流域21市町村一体となった防災・減災対策～

○令和元年東日本台風では、戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、遠賀川水系においても、事前防災対策を進める必要があることから、以下の取り組みを実施していくことで、戦後最大の平成30年7月洪水と同規模の洪水及び気候変動による降雨量の増加に対して、本川の堤防からの越水を回避するなど、流域における浸水被害の軽減を図る。



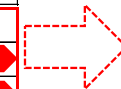
※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

遠賀川水系流域治水プロジェクト【ロードマップ】

～観測史上最高水位を観測した平成30年洪水及び気候変動に対応した流域21市町村一体となった防災・減災対策～

- 遠賀川では、流域全体を俯瞰し、国、県、市町村が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。
 - 【短期】 遠賀川本川の中下流部等では、河道掘削や築堤等を実施するとともに、既存ダムでの洪水調整機能の強化、雨水貯留施設等の対策を進めることで、平成30年洪水で浸水被害が発生した区間の浸水被害軽減を目指す。
 - 【中長期】 遠賀川本川及び支川では、堰改築や河道掘削等を実施し、流域全体の浸水被害軽減を目指す。あわせて、流域の特徴を踏まえ、水防災教育の普及・充実、防災知識の普及や避難に着目したタイムライン(行動計画)の確立等のソフト対策等、流域が一体となって被害の軽減、早期復旧・復興のための対策を推進する。

区分	対策内容	実施内容	実施主体	工程	
				短期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫対策	本川中下流部の浸水被害を軽減するための対策(河道掘削、築堤等) 本川上流及び支川の浸水被害を軽減するための対策(堰改築、河道掘削等)	遠賀川河川事務所、福岡県、北九州市 等	本川中下流部	本川上流及び支川
	内水氾濫対策	下水道等の排水施設、雨水貯留施設等の整備	福岡県森林管理署、福岡県、森林整備センター、九州整備局、流域21市町村 等		
	流域の雨水貯留機能の向上	校庭や公園等に貯留施設の設置 農業水利施設の整備・有効活用、ため池等の補強・有効活用、水田の貯留機能向上 森林整備、治山対策			
	土砂災害対策	砂防関係施設の整備		福岡県	
	流水の貯留機能の拡大	利水ダム等10ダムにおける事前放流等の実施、体制構築	遠賀川河川事務所、福岡県、北九州市、関係機関 等		
被害対象を減少させるための対策	水災害ハザードエリアにおける土地利用・住まい方の工夫	土地利用に関するルールづくり	遠賀川河川事務所、福岡県、流域21市町村 等		
		立地適正化計画の策定・見直し			
		安全な避難場所の確保のための取り組み			
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	土地の水災害リスク情報の充実	水防災教育の普及・充実、防災知識の普及	遠賀川河川事務所、福岡県、流域21市町村 等		
		水害リスク情報の周知			
		避難に資するリアルタイム情報の提供			
	避難体制等の強化	大規模な洪水の発生を想定した安全な避難場所等の確保 避難に着目したタイムライン(行動計画)の確立 効率的かつ的確な水防活動や施設操作の実施			
関係者と連携した早期復旧・復興の体制強化	氾濫水の早期排水や迅速な復旧のための備え				
グリーンインフラの取組	生物の多様な生息・生育環境の創出による生態系ネットワークの形成	現存する生態系のネットワーク化の推進	遠賀川河川事務所、環境省、福岡県、流域21市町村 等		
		多様な生態系の保全(農業関係)	福岡県 等		
	自然環境の保全・復元などの自然再生	河川の縦断的連続性の保全・再生	遠賀川河川事務所、福岡県、関係機関 等		
		河川とその周辺の連続性の再生			
	治水対策における多自然川づくり	多様な河川環境の保全又は創出	遠賀川河川事務所、福岡県、関係機関 等		
		多自然川づくりについての課題等の情報共有			
	魅力ある水辺空間	地域のニーズを踏まえた賑わいのある水辺空間創出への連携支援	遠賀川河川事務所、田川市 等		
田川地区かわまちづくり		遠賀川河川事務所、中間市 等			
自然環境が有する多様な機能活用の取組み	自然環境が有する多様な機能活用の取組み	グラウンド、公園、ため池等を活用した雨水貯留	北九州市、直方市、飯塚市、嘉麻市 等		
		小学校などにおける河川環境学習	遠賀川河川事務所、環境省、福岡県、流域21市町村 等		
	河川協力団体等への活動支援				
	産学官による水に関する取組の情報共有				



気候変動を踏まえた更なる対策を推進

- 河川対策 (約1,018億円)
- 砂防対策 (約57億円)
- 下水道対策 (約63億円)

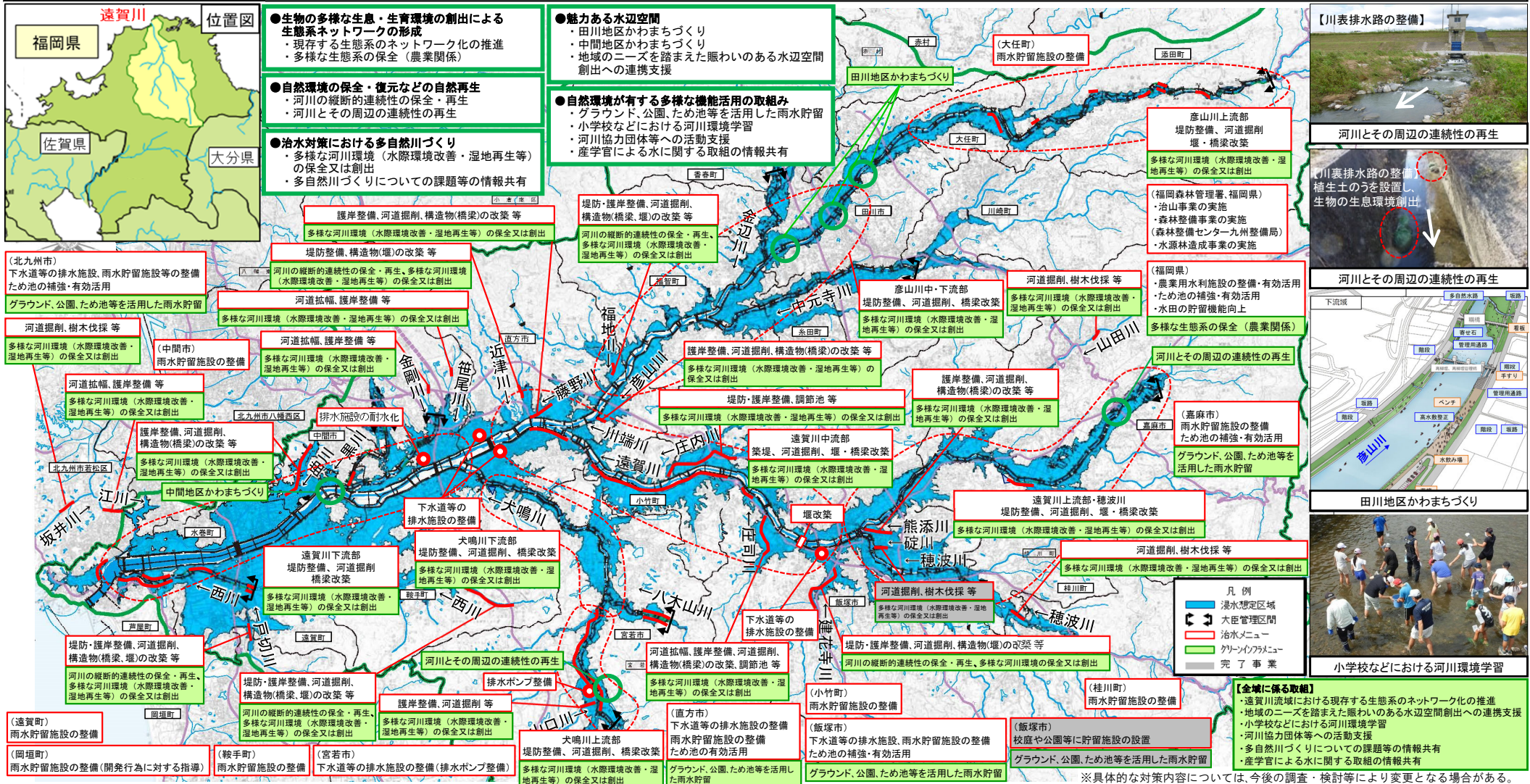
※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

遠賀川水系流域治水プロジェクト【グリーンインフラ】

～観測史上最高水位を観測した平成30年洪水及び気候変動に対応した流域21市町村一体となった防災・減災対策～

■グリーンインフラの取り組み 『石炭産業で栄えた遠賀川流域の自然再生と観光振興・地域活性化の推進』

- 遠賀川流域では、石炭採掘に伴う鉱害復旧事業や高度経済成長期に急速に進められた河川改修等の影響により河川の自然環境は失われてきましたが、近年の多自然川づくりの取組等により、遠賀川の河川環境（瀬・淵、砂州、ワンド・たまり、ヨシ原等）は回復しつつある。
- 遠賀川流域においては、適度な人為的影響の下で多様な生物が生息・生育し複雑な種間関係が存在していたと考えられる明治期以前の自然環境に近づけるため、河川とその周辺の連続性の再生をはじめ、現存する生態系をネットワーク化するなど、自然環境が有する多様な機能を活かすグリーンインフラの取組を推進する。
- 景観・歴史・文化・観光基盤等の地域資源を活かし、河川空間とまち空間が融合した憩いと賑わいのある水辺空間を創出するグリーンインフラの取組を推進する。

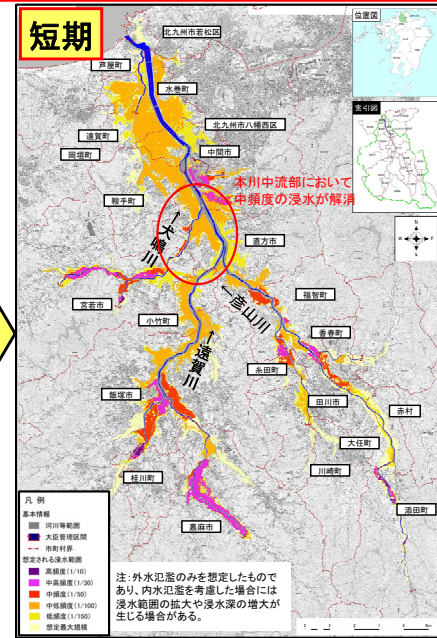
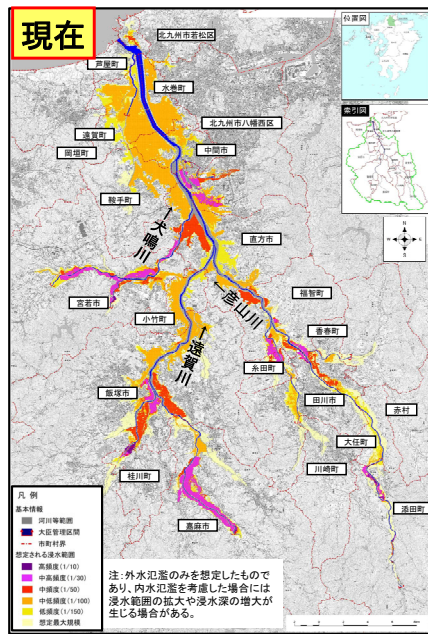
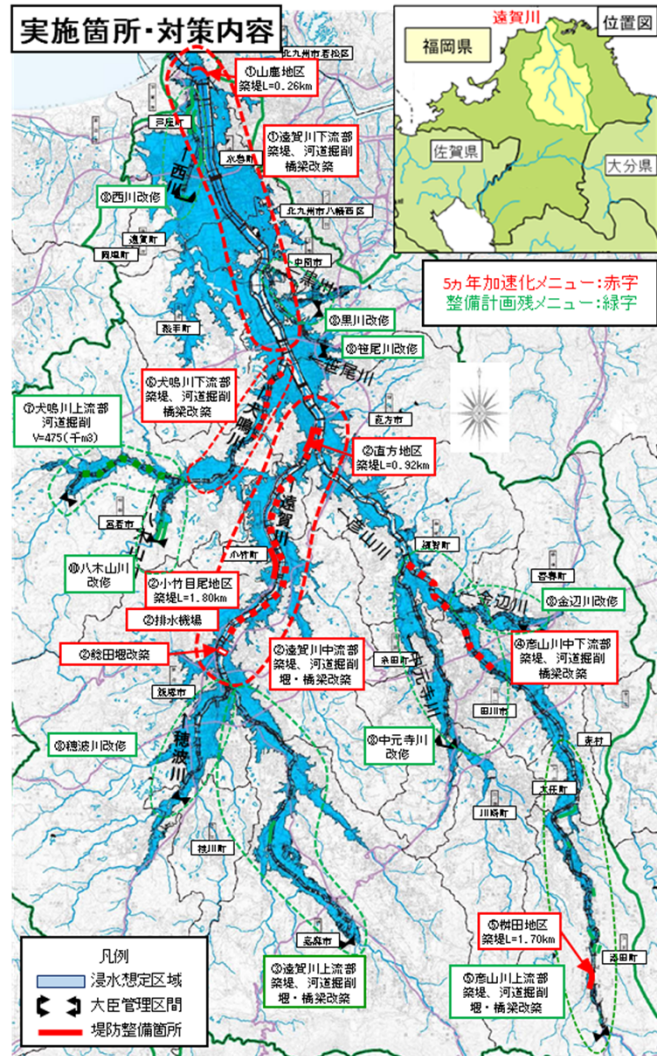


遠賀川水系流域治水プロジェクト【事業効果（国直轄区間）の見える化】

～観測史上最高水位を観測した平成30年洪水及び気候変動に対応した流域21市町村一体となった防災・減災対策～

短期整備(5か年加速化対策)効果：河川整備率 約45%→約60%

遠賀川本川の中下流部等では、河道掘削や築堤等を実施するとともに、既存ダムでの洪水調整機能の強化、雨水貯留施設等の対策を行うことで、平成30年洪水で浸水被害が発生した区間の浸水被害を軽減することが可能。特に浸水被害が多かった庄司川（飯塚市）においては、国・県・市で連携した内水対策完了に伴い、庄司川流域でW=1/10規模の内水における、床上浸水被害を解消することが可能。



- 【短期整備完了時の進捗】
- ①本川下流部
 - 築堤：0%→100%
 - 掘削：0%→50%
 - 橋梁改築：0%→50%
 - ②本川中流部
 - 築堤：0%→90%
 - 河道掘削：0%→40%
 - 橋梁改築：0%→20%
 - 堰改築：0%→40%
 - 排水機場増設：0%→100%
 - ④彦山川中下流部
 - 掘削：0%→30%
 - ⑤彦山川上流部
 - 築堤：0%→30%
 - ⑥犬鳴川下流部
 - 掘削：0%→80%
 - 橋梁改築：0%→5%

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合があります。

区分	区間	対策内容	期間		
			短期(R3~R7年度) 1/25~1/40(本川中流部)	中長期(R8~R33年度) 1/40~1/80(本川中流部) 1/25~1/80(本川上流部)	
氾濫をできるだけ防ぐ、減らすための対策	①遠賀川下流部 (河口~犬鳴川合流点)	築堤	100%	100%	100%
		河道掘削	50%	100%	100%
		橋梁改築	50%	100%	100%
	②遠賀川中流部 (犬鳴川合流点~鯉田堰)	築堤	90%	100%	100%
		河道掘削	40%	100%	100%
		橋梁改築	20%	100%	100%
		堰改築	40%	100%	100%
	③遠賀川上流部 (鯉田堰~上流端)	築堤	-	100%	100%
		河道掘削	-	100%	100%
		橋梁改築	-	100%	100%
	④彦山川中下流部 (本川合流点~伊田堰)	築堤	-	100%	100%
		河道掘削	30%	100%	100%
橋梁改築		-	100%	100%	
⑤彦山川上流部 (伊田堰~上流端)	築堤	-	100%	100%	
	河道掘削	-	100%	100%	
	橋梁改築	-	100%	100%	
⑥犬鳴川下流部 (本川合流点~八木山川合流点)	築堤	-	100%	100%	
	河道掘削	80%	100%	100%	
	橋梁改築	5%	100%	100%	
⑦犬鳴川上流部 (八木山川合流点~上流端)	築堤	-	100%	100%	
	河道掘削	-	100%	100%	
	橋梁改築	-	100%	100%	
⑧その他河川 (西川、黒川、笹尾川、穂波川、八木山川、中元寺川、金辺川)	築堤	-	100%	100%	
	河道掘削	-	100%	100%	
	橋梁改築	-	100%	100%	

遠賀川水系流域治水プロジェクト【流域治水の具体的な取組】

～観測史上最高水位を観測した平成30年洪水及び気候変動に対応した流域21市町村一体となった防災・減災対策～

戦後最大洪水等に対応した河川の整備（見込）



整備率：60%
(概ね5か年後)

農地・農業用施設の活用



5市町村
(令和3年度末時点)

流出抑制対策の実施



0施設
(令和2年度実施分)

山地の保水機能向上および土砂・流木災害対策



治山対策等の実施箇所 **4箇所**
(令和3年度実施分)
砂防関係施設の整備数 **1施設**
(令和3年度完成分)

立地適正化計画における防災指針の作成




0市町村
(令和3年12月末時点)

避難のためのハザード情報の整備



洪水浸水想定区域 **14河川**
(令和3年12月末時点)
内水浸水想定区域 **0団体**
(令和3年11月末時点)

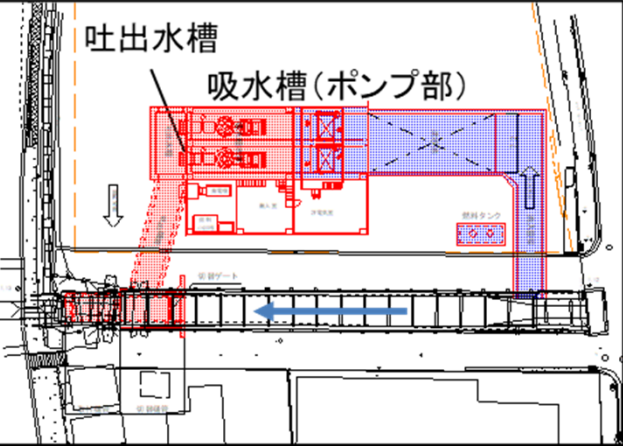
高齢者等避難の実効性の確保




避難確保計画
洪水 **645施設**
土砂 **352施設**
(令和3年9月末時点)
個別避難計画 **21市町村**
(令和4年1月1日時点)

氾濫をできるだけ防ぐ・減らす対策


■水江雨水ポンプ場新設（飯塚市）



吐出水槽
吸水槽(ポンプ部)



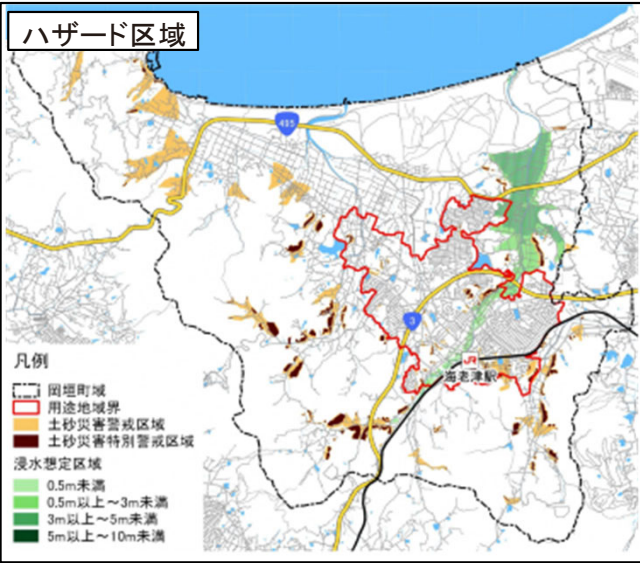
施工状況



位置図
水江雨水ポンプ場
遠賀川
国道200号BP
熊本九州

被害対象を減少させるための対策

■立地適正化計画の策定（岡垣町：策定中）



ハザード区域

凡例
 □ 岡垣町域
 □ 用途地域界
 □ 土砂災害警戒区域
 □ 土砂災害特別警戒区域
 ■ 浸水想定区域
 ■ 0.5m未満
 ■ 0.5m以上～3m未満
 ■ 3m以上～5m未満
 ■ 5m以上～10m未満

・居住誘導区域については、防災指針における対策との整合性を図りながら設定を検討中

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

■水防災学習の実施（国）




■マイタイムライン親子講習会の実施（飯塚市・国）